



注：1. 「昭和57年度福島県児童生徒の体格・体力・運動能力の現状」(昭58)による。  
 2. 体格・体力・運動能力の各要素ごとの全国平均値(昭和57年度)を基準として、本県の各年度(昭和57年度・52年度・47年度)の測定値それぞれの偏差値(T-スコア)を求め、各要素を下記の9領域にまとめるとともに、偏差値をグラフとして表したものである。

(1) 体格  
 長育……身長・座高  
 幅量育……体重・胸囲

(2) 体力  
 持久力……{小学生……斜懸垂・連続さかあがり  
 中・高生……持久走

調整力……{小学生……ジグザグドリブル・反復横とび  
 中・高生……反復横とび

瞬発力……垂直とび  
 筋力……握力・背筋力  
 柔軟性……立位体前屈・伏臥上体そらし  
 循環機能……踏台昇降運動

(3) 運動能力  
 運動技能……50m走・走り幅とび・ボール投げ

総じて、本県の児童生徒は、体格は向上しているが、体力・運動能力がそれに伴っていない現状となっている。

したがって、今後は、発達段階に応じた身体活動を学校教育活動全体を通じて計画的に行い、体力・運動能力の向上に努める必要がある。

## (2) 体育担当教員の資質

学習指導要領の趣旨の徹底と、体育担当教員の指導力の向上を図るため、学校体育実技指導者講習会、スポーツテスト講習会、学校体育実技(格技)認定講習会、体育実技(ダンス)講習会、学校スキー講習会及び保健体育講座等を実施している。このうち、各教育事務所管内で実施している体育実技指導者講習会の参加状況を見ると、小・中学校においては、参加者が増加の傾向にあるが、高等学校においては増減が見られる(表5-1-1)。

今後とも、小・中学校及び高等学校における各種研修会等を充実し、体育担当教員の資質の向上に努める必要がある。

表5-1-1 体育実技に関する指導者講習会参加人数

(単位：人)

| 区分   | 年度   | 51    | 52    | 53    | 54    | 55    | 56    | 57    | 58    |
|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      |      | 小学校   | 452   | 488   | 548   | 525   | 526   | 552   | 536   |
|      | 水泳   | 394   | 432   | 452   | 518   | 486   | 513   | 520   | 536   |
| 中学校  | 体育実技 | 161   | 186   | 162   | 189   | 185   | 178   | 216   | 225   |
|      | 水泳   | 132   | 148   | 133   | 161   | 155   | 139   | 154   | 179   |
| 高等学校 | 体育実技 | 244   | 147   | 118   | 126   | 231   | 234   | 159   | 177   |
| 計    |      | 1,383 | 1,401 | 1,413 | 1,519 | 1,583 | 1,616 | 1,585 | 1,710 |

注：「保健体育課調査」(昭51～昭58)による。